(8) 内容の「B鑑賞」の(1)のイの(ｳ)の指導に当たっては，漢字仮名交じり文の成立について取り上げるようにする。

(9) 内容の「A表現」及び「B鑑賞」の指導に当たっては，思考力，判断力，表現力等の育成を図るため，芸術科書道の特質に応じた言語活動を適切に位置付けられるよう指導を工夫する。なお，内容の「B鑑賞」の指導に当たっては，作品について根拠をもって批評する活動などを取り入れるようにする。

(10) 内容の「A表現」及び「B鑑賞」の指導に当たっては，書道の諸活動を通して，生徒が文字や書と生活や社会との関わりを実感できるよう指導を工夫する。

(11) 自己や他者の著作物及びそれらの著作者の創造性を尊重する態度の形成を図るとともに，必要に応じて，書に関する知的財産権について触れるようにする。また，こうした態度の形成が，書の伝統と文化の継承，発展，創造を支えていることへの理解につながるよう配慮する。

第11　書道Ⅱ

1　目　標

書道の創造的な諸活動を通して，書に関する見方・考え方を働かせ，生活や社会の中の文字や書，書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 書の表現の方法や形式，多様性などについて理解を深めるとともに，書の伝統に基づき，効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。

(2) 書のよさや美しさを感受し，意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり，作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え，書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。

(3) 主体的に書の創造的な諸活動に取り組み，生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，書の伝統と文化に親しみ，書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

2　内　容

A　表　現

表現に関する資質・能力を次のとおり育成する。

(1) 漢字仮名交じりの書

漢字仮名交じりの書に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　知識や技能を得たり生かしたりしながら，次の(ｱ)から(ｳ)までについて構想し工夫すること。

(ｱ) 目的や用途，表現形式に応じた全体の構成

(ｲ) 感興や意図に応じた個性的な表現

(ｳ) 現代に生きる創造的な表現

イ　次の(ｱ)及び(ｲ)について理解すること。

(ｱ) 漢字仮名交じりの書を構成する様々な要素

(ｲ) 名筆や現代の様々な書の表現と用筆・運筆との関わり

ウ　次の(ｱ)及び(ｲ)の技能を身に付けること。

(ｱ) 目的や用途，意図に応じた効果的な表現

(ｲ) 漢字と仮名の調和等による全体の構成

(2) 漢字の書

漢字の書に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　知識や技能を得たり生かしたりしながら，次の(ｱ)及び(ｲ)について構想し工夫すること。

(ｱ) 表現形式に応じた全体の構成

(ｲ) 感興や意図に応じた個性的な表現

イ　次の(ｱ)及び(ｲ)について理解すること。

(ｱ) 漢字の書を構成する様々な要素

(ｲ) 古典の特徴と用筆・運筆との関わり

ウ　次の(ｱ)及び(ｲ)の技能を身に付けること。

(ｱ) 古典に基づく効果的な表現

(ｲ) 変化や調和等による全体の構成

(3) 仮名の書

仮名の書に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　知識や技能を得たり生かしたりしながら，次の(ｱ)及び(ｲ)について構想し工夫すること。

(ｱ) 表現形式に応じた全体の構成

(ｲ) 感興や意図に応じた個性的な表現

イ　次の(ｱ)及び(ｲ)について理解すること。

(ｱ) 仮名の書を構成する様々な要素

(ｲ) 古典の特徴と用筆・運筆との関わり

ウ　次の(ｱ)及び(ｲ)の技能を身に付けること。

(ｱ) 古典に基づく効果的な表現

(ｲ) 墨継ぎや散らし書き等による全体の構成

B　鑑　賞